令和７年度　鹿児島大学工学部
編 入 学 学 生 募 集 要 項

○推 薦 に よ る 選 抜

○学力検査による選抜

鹿児島大学工学部
郵便番号 890－0065
鹿児島市郡元一丁目21番40号
電話 099－285－3269

1　鹿児島大学教育目標

前文

鹿児島大学は，進取の気風にあふれる総合大学として，学生の潜在能力の発見と適性の開花に努め，自主自律と進取の精神を有する人材の育成を目指す。

そのために次の教育目標を掲げる。

1．幅広い教養と高度な専門的知識・技能を身につけ，諸課題を発見・探究・解決する能力を育む。

2．豊かな人間性と倫理観を身につけ，向上心をもって自ら困難に立ちむかう態度を養う。

3．地域における活動に積極的に関わり，社会の発展に貢献できる行動力を養う。

4．グローバルな視野をもち，国際社会の発展に貢献できる実践的な能力を育む。

2　鹿児島大学の入学者受入方針（アドミッションポリシー）

鹿児島大学は，教育目標に定める「進取の精神」を有する人材を育成するために，次のような学生を求めています。

1．鹿児島大学の教育目標を理解し，それを実現できる基礎学力と自身の成長のために修学しようという意欲がある人

2．地域／グローバル社会の多様性を理解し，さまざまな相手や状況に応じたコミュニケーションの必要性を認識している人

3．地域／グローバル社会の一員であることを自覚し，社会の課題解決に向けて貢献する意志のある人

4．IT革命からAI革命へと進展する現代社会において，学術的方法を通じて多様な情報を批判的に検証・精査し，新たな知の探究・創出を目指す人

工学部の教育目標

知識基盤社会を先導する工学部は，高度な専門職業人の養成教育において，ひとりひとりの学生が自ら向上心をもって主体的に学修し，困難に立ち向かう「自主自律と進取の精神を有する学士（工学)」の育成を目指します。そのため，次の教育の目標を掲げます。

1．「ものづくり」において地域社会及び国際社会で活躍できる技術者・研究者を目指す学生に，幅広い教養と高度な専門能力を育みます。

2．獲得した知識や技術等を統合的に活用することにより，人類社会や文化と自然との調和ある発展に貢献する能力を養います。

3．高度な工学技術や知識を，実社会における課題解決のために応用できる創成能力を養います。

4．豊かな人間性と普遍的な倫理観に基づき，自ら向上心をもって次代を切り拓く力を養います。

5．社会的な責任を担いつつ，グローバルな教養人として生涯にわたって自己研鑽に取り組む力を養います。

工学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

1．求める人材像

工学部は，本学部の教育目標に共感できる次のような人を，国内外から広く求めています。

・工学部の学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人
・工学の面白さを学びたい，ものづくりに取り組んでみたい，技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人
・自ら考え，主体的に学修する目的意識が明確で，そのための学修意欲が高い人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，各学科の各プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

工学部では，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接などを課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。
・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目などの学力検査，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

各プログラムの教育目標及び入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

【機械工学プログラム】

＜教育目標＞

次世代を担う技術者・研究者を育成するため，以下を教育目標にしています。

１．人類の幸福と福祉, エネルギーと環境, 人間と社会などの調和を洞察できる能力を身に付けます。
２．国際的な場で活用できる外国語の基礎的な能力を身に付けます。
３．数学や自然科学の基礎の基に，工学的基礎に関する知識を身に付けます。
４．機械工学の基礎学力を修得し，それらを問題解決に活用できる能力を身に付けます。
５．機械工学の知識を総合的に応用して，工学的問題を自主的に分析し解決するデザイン能力を身に付けます。
６．調査，討論，発表などを通じて自らの課題を発見し，それを解決する能力を身に付けます。
７．自己の能力を主体的に生涯にわたって継続して向上できる能力を身に付けます。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

機械工学プログラムでは，次世代を担う技術者・研究者の育成を目指しており，次のような人を国内外から広く求めています。

・機械工学プログラムの学位授与の方針を達成できる基礎学力を有し，論理的・物理的思考に対する素養がある人
・機械工学に大いに興味があり，真摯に学ぼうとする意欲，向上心・探究心にあふれる人
・高等学校生活等で培われた精神力と協調性があり，科学的発想などに豊かな感性がある人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基

礎学力のほか，機械工学プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

機械工学プログラムでは，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目などの学力検査，面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【電気電子工学プログラム】

＜教育目標＞

工学部の教育目標を受けて，電気電子工学プログラムでは次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

１．基盤となる基礎教育を身につけ，発展的に将来の科学技術の進展に柔軟に対応する能力を養います。

２．地球環境に配慮した高度情報化社会の基盤を支え，科学技術の発展と人類の幸福に貢献できる広範かつグローバルな思考力を養います。

３．電気電子工学に関する知識に基づいて，論理的な思考，技術の応用と創造，問題の発見と解決ができる能力を養います。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材

電気電子工学プログラムでは，次のような向学・研究心あふれる人を求めています。

・電気電子工学プログラムの教育目標に共感し，それを実現できる基礎学力・意欲をもつ人

・研究・応用分野での最先端の知識・実践力を身につけ，社会で活躍したい人

・国際的コミュニケーション能力を身につけ，国際的に活躍したい人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，電気電子工学プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

電気電子工学プログラムでは，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，適性について評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目および基礎教育科目の学力検査，面接を課し，電気磁気学・電気回路学の専門基礎学力，数学の基礎学力，学習意欲，適性について評価し選抜します。

【海洋土木工学プログラム】

＜教育目標＞

海洋土木工学プログラムは，以下に示す幅広い視野と高い倫理観及び海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材（技術者・研究者）を養成することを目的としています。そのため，次の教育目標を掲げます。

1．人類の幸福と福祉について考えることのできる能力を養成します。
2．エネルギーと環境，人間と社会の持続的な調和を考えることのできる能力を養成します。
3．地域社会及び国際社会においてコミュニケーションができる能力を養成します。
4．数学や自然科学の基礎と工学基礎に関する知識を活用できる能力を養成します。
5．土木工学の基礎知識を工学的デザインに活かし，持続的な社会の発展に貢献できる能力を養成します。
6．海洋環境の開発と保全について総合的判断ができる能力を養成します。
7．チームによる調査・討論・発表などを通じて，地域社会の課題を自主的に発見し，それを分析・解決できる能力を養成します。
8．卒業後も主体的に学習を継続できる能力を養成します。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1．求める人材像

海洋土木工学プログラムは，海洋に関する深い理解とそれに関連した土木工学に関する豊富な知識・判断力を有する人材の育成をめざしています。このような観点から，本プログラムでは次のような学生を求めています。

・高等学校で学ぶ数学・理科などの基礎学力を十分にもち，論理的思考の好きな人
・持続可能な国土・海洋の開発と保全に関する話題に関心をもち，関連分野で活躍したい人
・自然環境と人間社会との調和・共生に関わる技術開発に興味と情熱をもつ人

2．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，海洋土木工学プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

3．入学者選抜の基本方針

海洋土木工学プログラムでは，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接，小論文を課し，高等専門学校長の推薦書･調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。
・編入学の「学力検査による選抜」では，「土木系を専攻している志願者」に対しては，専門教育科目などの学力検査，面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。「土木系を専攻していない志願者」に対しては，学力検査，小論文，面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【化学工学プログラム】

＜教育目標＞

工学部の教育目標を受けて，化学工学プログラムでは次のような人材（技術者・研究者）の育成を目標としています。

１．人類の持続可能な共生社会創出のため，国際的視野から多様な地域社会に寄与できる豊かな人間性，社会性，高い倫理観をもつ人材

世界的な視点から文化・自然環境・地域社会を多面的に考え，より豊かで持続可能な人類社会の創出に寄与する科学技術の役割とその倫理的責任を良く理解した技術者・研究者

２．自然科学の基礎知識と教養，および確かな化学工学専門知識に基づく設計と応用によって人類社会に貢献できる人材

自然･数理科学及び技術に関する基礎知識と化学及びその関連分野の専門技術に関する応用能力を涵養し，専門技術者として工学的諸問題を解決できる技術者・研究者

３．チーム内での役割を制約下で果たし，地域の文化や風土および産業と調和した工学技術をデザインできる人材

多様な地域社会の文化･風土･産業をよく理解し，それらと調和した化学工学技術を与えられた制約内で設計し，チーム内での役割を果たせる能力を備えた技術者・研究者

４．国際的な情報交換と協調および生涯にわたる自己研鑽によって，社会の要請する新技術の開拓に積極的に貢献できる人材

科学や技術の進歩に対応して自発的に研鑽し生涯学習に努め，多くの専門分野の人々と日本語ならびに英語による文書・口頭あるいは情報メディア等による基本的かつ効率的なコミュニケーションができる技術者・研究者

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

化学工学プログラムではアドミッションポリシー（入学者受入方針）として，本プログラムの教育目標の観点から，化学，物理，数学，英語についての基礎的能力を有している次のような学生を求めています。

・環境と調和した社会の創出に共感し，それを実現するための科学の基礎知識と意欲をもつ人
・化学工学的視野から公共の福祉や持続可能な人類社会の創出に自主的，継続的に貢献する意欲のある人
・コミュニケーション力や協調性を養い，世界に視野を向けて様々な問題に取り組むことに関心のある人
・化学工学の専門技術を身につけ，高い倫理観をもって研究開発を通して地域社会へ寄与することをめざす人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，本プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

化学工学プログラムでは，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力

検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，基礎教育科目（化学，物理，数学）の学力検査，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

【化学生命工学プログラム】

＜教育目標＞

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

1．豊かな人間性と社会性による倫理観を備え，国際的視野のもと，自然・環境の摂理と諸科学の基礎知識を吸収して共生する能力を養成します。

2．数学，工学基礎や情報処理技術及び化学工学に関する基礎知識と能力を養成します。

3．化学と生物の知識を柔軟に駆使し，新材料やバイオ技術，薬の創製と評価に生かせる能力を養成します。

4．日常的・国際的コミュニケーション能力を養成します。

5．フレッシュマンセミナー，学生実験，演習，卒業研究・講座ゼミ，学外実習等を通じ，与えられた要求に対して，知識・技術を駆使して総合的に判断し，実現可能な解決方法を提案できるデザイン能力を養成します。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1．求める人材像

化学生命工学プログラムでは，化学の知識を役立てることにより，地球環境や生命との調和を図りつつ人類社会の持続的発展に寄与できる人材の育成をめざしています。特に化学・生物についての十分な学力を有し，勉学意欲があり，広範な視野と柔軟性を備え，積極性に富む次のような学生を求めています。

・新物質や機能材料の創製に意欲のある人

・バイオテクノロジーに興味をもち，医薬や医用材料の創製に意欲のある人

・分析や化学計測に関心をもつ人

・環境保全やエネルギーなどに興味をもつ人

2．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校等から編入学する場合，高等専門学校レベルの一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，化学生命工学プログラムでの専門教育に対応できる専門教育科目の基礎的な知識と能力が必要となります。

3．入学者選抜の基本方針

化学生命工学プログラムでは，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接を課し，高等専門学校長の推薦書・調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識と適正などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目による学力検査及び面接を課し，基礎学力，学習意欲，目的意識と適正などを評価し選抜します。

【情報・生体工学プログラム】

＜教育目標＞

次世代を担う技術者・研究者を育成するために以下を教育目標としています。

1．技術者の使命と倫理

豊かな人間性と社会性を備え，工学および情報技術の発達が社会と自然におよぼす影響と技術者の責任についてグローバルな視点から理解し，考えられる人材

2．基礎学力

情報・生体工学の基礎となる数学，物理学や情報システム基礎などの基礎学力を身につけ，その知識を問題解決のために応用できる人材

3．ソフトウェアの知識と応用力

プログラミング，ソフトウェア工学とその関連分野の理論と応用を学び，プログラミング能力とソフトウェア開発のための能力を持つ人材

4．情報システムの知識と応用力

計算機工学，情報ネットワークとその関連分野の理論と応用を学び，活用できる人材

5．情報・生体工学の専門知識と応用力

情報システムや認知・生体工学におけるより専門性の高い知識と応用を学ぶことができる人材

6．コミュニケーション能力

正しい日本語による論理的記述力，発表能力，コミュニケーション能力や，英語による基本的なコミュニケーション能力を持つ人材

7．デザイン能力

現状分析と問題点抽出のための情報収集能力や自主的で継続的な学習姿勢と，解決に至る計画を自ら立案し遂行できる人材

8．計画遂行能力

与えられた制約の下で計画的に仕事を進め，まとめる能力を持つ人材

9．協調性

チームで仕事をするための能力を持つ人材

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

1．求める人材像

情報・生体工学プログラムは，本プログラムの教育目標に共感できる次のような人を，国内外から広く求めています。

・情報・生体工学プログラムの学位授与の方針を達成できる基礎学力ないしは素養のある人

・工学の面白さを学びたい，ものづくりに取り組んでみたい，技術開発に挑戦したい等の夢をもつ人

・自ら考え，主体的に学修する目的意識が明確で，そのための学修意欲が高い人

2．入学前に身につけて欲しいこと

高等専門学校や理工系の短期大学または専修学校などから編入学する場合，編入学に相応しい一般教養，数学，英語などの基礎学力のほか，情報工学・生体工学の先端技術を学ぶための専門基礎学力及び基礎知識と理解力，表現能力などの能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

情報･生体工学プログラムでは,高等専門学校等からの編入学では,「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接，小論文を課し，高等専門学校長の推薦書･調査書，成績証明書を含め，編入学に相応しい基礎学力のほか，情報工学・生体工学の先端技術を学ぶ上で必要となる専門基礎学力及び基礎知識と理解力，表現能力，勉学意欲等を評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目などの学力検査，面接などを課し，編入学に相応しい基礎学力のほか，情報工学・生体工学の先端技術を学ぶ上で必要となる専門基礎学力及び基礎知識と理解力，コミュニケーション能力，勉学意欲等を評価し選抜します。

【建築学プログラム】

＜教育目標＞

包括的な教育を基盤とした建築学総合プログラムとして，次の具体的な教育目標を掲げています。

１．建築技術者としての使命感と倫理観を持ち，幅広い視野に立って多面的に建築を考えることができる能力を養います。

２．建築における基本的な考え方を理解し，工学技術と人文社会科学・芸術の知識を応用することができる総合力を養います。

３．新しい建築文化や建築技術の創造へつながる自主的･継続的学習能力及びエンジニアリング･デザイン能力（必ずしも正解の無い複合的な課題に対して，創造的かつ効果的な解決策を提示できる能力）を養います。

４．地域社会及び国際社会の建築に関する場で活動できる情報発信力，コミュニケーション力，及びチームで仕事をすることができる能力を養います。

＜入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）＞

１．求める人材像

建築の役割は，個々の建物から都市までを対象として，学術と技術と芸術の３つの面を融合して，人々に快適な空間を創造することです。建築学プログラムでは，国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語に関する基礎学力を有し，建築と芸術及び社会の広い分野に関心を持つ次のような学生を求めています。

・建築を造りたいという情熱を持っている人

・建築に関する自然科学・人文社会科学・芸術の分野に幅広く関心を持ち，自らの強みを活かし主体的に学修する意欲がある人

・建築と人間や社会や環境との関係に興味がある人

・建築デザインの分野で素養を活かしたいと考えている人

・安全で美しく快適な建築を造る技術に関心のある人

・建築士などの資格を取得し，地域社会や国際社会に貢献する夢をもつ人

２．入学前に身につけて欲しいこと

高等学校レベルの国語，地理歴史，公民，数学，理科，外国語などの基礎学力のほか，建築学プログラムでの専門教育に対応できる数学，理科の知識と能力が必要となります。

３．入学者選抜の基本方針

建築学プログラムでは，高等専門学校等からの編入学では，「推薦による選抜」と「学力検査による選抜」により編入学者を選抜します。

・編入学の「推薦による選抜」では，面接，小論文を課し，高等専門学校長の推薦書･調査書，成績証明書を含め，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

・編入学の「学力検査による選抜」では，専門教育科目の学力検査，面接などを課し，基礎学力，学習意欲，目的意識などを評価し選抜します。

目　　次

募集する学科・プログラム等 …… 1

推薦による選抜 …… 2～4

学力検査による選抜 …… 5～9

編入学後の履修について …… 10

注　意　事　項 …… 11

障害のある入学志願者の事前相談 …… 12

入　学　手　続 …… 13

入試情報開示 …… 14

鹿児島大学検定料払込方法 …… 15

（資料）令和５年度入学者選抜に関する入試状況 …… 16

入学者選抜実施日程

出　願　期　間	令和６年５月７日㈫～令和６年５月10日㈮
選抜試験実施日	令和６年５月25日㈯
合格者発表	令和６年６月10日㈪
入学手続期間	令和６年７月11日㈭～令和６年７月12日㈮

※やむを得ない事由によって，選抜試験実施日及び選抜方法は変更になる可能性があります。
変更になる場合は，当初の選抜試験実施日の２週間前までに受験予定者に通知しますので，志願表には確実に連絡のとれる電話番号を記入して下さい。

≪募集する学科・プログラム等≫

各プログラムは，下記のとおり，推薦による選抜及び学力検査による選抜を行います。

学科名	プログラム名	募集人員	編入年次	対象となる学科	
				推薦による選抜（高等専門学校のみ）	学力検査による選抜
先進工学科	機械工学プログラム	17人	３年次	機械系学科	出身学科を問わない
	電気電子工学プログラム			電気・電子・情報系学科	
	海洋土木工学プログラム			土木工学科・建設工学系学科	
	化学工学プログラム			化学工学・化学系学科	
	化学生命工学プログラム			化学・生物系学科	
	情報・生体工学プログラム			情報・電気・電子系学科	
建築学科	建築学プログラム	３人		建築系学科	

（注）下記のいずれかに該当する志願者は，編入年次が２年次となることがあります。

⑴　編入学前に修得した科目の中で，各プログラムの既修得単位として認定可能な合計単位数が少ないなど，編入学後の取得単位と併せても編入学１年後に４年次への進級要件を満たすことができないと判断される場合

⑵　各プログラムの修学に必要な科目を修得していない場合

外国人留学生等の受入れ手続きについて

鹿児島大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人鹿児島大学安全保障輸出管理規則」を定めて，技術の提供及び貨物の輸出の観点から外国人留学生や規制対象となる居住者の受入れに際し厳格な審査を行っていますので，出願を希望する場合は，出願前できるだけ早い段階でご相談ください。

規制されている事項に該当する場合は，入学が許可できない場合や希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので，ご注意ください。

なお，詳細については，以下の本学安全保障輸出管理に関するWebサイトを参照してください。

https://www.kagoshima-u.ac.jp/research/anzenhoshou.html

推 薦 に よ る 選 抜

１．出願資格

高等専門学校を令和７年３月卒業見込みの者で，在学中の成績が上位に属し，学校長が学力・人物ともに優秀で，健康状態が良好と認め，責任をもって推薦できる者

また，合格した場合入学を確約できる者

２．出願期間

令和６年５月７日㈫～令和６年５月10日㈮　16時まで（必着）

出願は，原則として書留速達郵便に限ります。ただし，出願期間を過ぎて到着したものは受理しないので，５月10日㈮16時までに到着しないおそれがある場合は，５月10日㈮に限り個人による持参を認めます。（受付時間は９時～16時（12時～13時を除く。））

３．出願手続

(1)　出願方法

学校長は，出願書類を整え一括して提出してください。郵送の場合は，志願者ごとに出願用封筒（市販の角形２号（縦332mm，横240mm）封筒にプリンターで印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けたもの）に入れ，それを一括して封筒に入れて，「編入学試験（推薦による選抜）出願書類在中」と朱書し，書留・速達郵便で送付してください。

(2)　出願に要する書類等（＊印は工学部ホームページからダウンロードし，印刷する必要があります。）

書　類　等	摘　　要
編入学志願票＊	本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）を使用すること。
推　薦　書＊	本学所定の様式（A3 用紙に印刷したもの）により出身学校長が作成，厳封したもの。
調　査　書	出身学校長が作成し，厳封したもの。
成績証明書	修得した科目と単位数が明記されており，最終学校長が作成し，厳封したもの。ただし，単位修得見込みの科目欄に○印をつけること。 （高等専門学校へ編入した学生については，高校またはそれに該当する学校での成績が明記されていること。）
履修要項（シラバス）紙媒体	志願者の適用年度の履修要項（シラバス）で修得している全ての科目及び修得予定の科目が対象。前述の全科目を紙媒体（A4用紙，両面）に印刷したもの。
国費留学生証明書	日本国政府国費外国人留学生は，在籍する学校が発行する証明書を提出すること。
住民票（写）又はパスポート（写）	日本国籍を有しない者は，市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写し（個人番号（マイナンバー）の記載が省略されたもの。），又はパスポートの写し（受験のために入国する場合）を提出すること。
写真票・受験票＊	出願前６ヶ月以内に撮影した写真を本学所定の写真票及び受験票に貼付のこと。（上半身，脱帽，正面，縦４㎝×横３㎝）
宛　名　票　＊	本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）に志願者の氏名，住所及び郵便番号を記入すること。　※「様」は消さないこと。
入学検定料＊	30,000 円を「鹿児島大学検定料払込方法」（15 ページ）を参照の上，コンビニエンスストア又はクレジットカードで払い込み後，【収納証明書】を本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）に貼り付けて提出すること。 なお，事務手数料は志願者の負担となります。 振込期間：令和６年４月22日㈪～５月10日㈮ 15 時まで 【注】出身学校において，日本国政府国費外国人留学生として奨学金を受給している者も，検定料を払い込んでください。（本学部の入学者選抜に合格し，入学することを前提とした奨学金の延長申請をする者は，延長が決定した場合，本学へ入学した後に検定料を返還しますので，決定通知書を添えて工学部学生係へ申し出てください。）
返信用封筒	市販の長形３号（縦235mm，横120mm）封筒に，志願者の氏名，住所及び郵便番号を明記し，344円分の切手を貼付のこと。　（受験票等の送付用）

(3) 個人情報の取扱いについて

個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の制定に伴い，出願書類等により入学志願者から提出された個人情報については，入学者選抜・合格者発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導等，授業料の債権管理を行うためにのみ利用し，他の目的には使用しません。

(4) 出願書類提出先

〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号
鹿児島大学工学部学生係　　［電話］099－285－3269

4．選抜方法

学校長からの推薦書，調査書，成績証明書，面接及び小論文の結果を総合して判定します。

ただし，機械工学プログラム，電気電子工学プログラム，化学工学プログラム，化学生命工学プログラムの志願者については，小論文は課しません。（配点等については，下表「選抜方法に関する配点」を参照のこと。）

(1) 選抜方法に関する配点

学科	プログラム	推薦書・調査書	成績証明書	面　接	小　論　文	総合得点
先進工学科	機械工学プログラム	30	30	40		100
	電気電子工学プログラム	30	30	40		100
	海洋土木工学プログラム	30	30	40	100	200
	化学工学プログラム	30	30	40		100
	化学生命工学プログラム	30	30	40		100
	情報・生体工学プログラム	30	30	40	100	200
建築学科	建築学プログラム	30	30	40	100	200

(2) 面接の方法と評価事項

学科	プログラム	面接の形態		面接時間	評　価　事　項
		面接種類	面接員数		
先進工学科	機械工学プログラム	個人面接	４～６名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
	電気電子工学プログラム		６名	15分	基礎学力，学習意欲，適性について評価する。
	海洋土木工学プログラム		３～５名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
	化学工学プログラム		３～４名	15分	基礎学力，学習意欲，目的意識について評価する。
	化学生命工学プログラム		３～４名	10分	基礎学力，学習意欲，目的意識と適性などについて評価する。
	情報・生体工学プログラム		３～５名	10分	勉学意欲，勉学遂行のための能力と知識，コミュニケーション能力と態度について評価する。
建築学科	建築学プログラム		５名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。

注）受験者数などにより「面接の形態」，「面接時間」を変更することがあります。

(3) 小論文の評価事項

小論文は高等専門学校までに習った関連の専門科目等を基礎に「各専門を学ぶうえで必要な常識的事項，あるいは各専門分野におけるトピック的なもの」を課します。

５．合否判定基準

⑴　学校長からの推薦書・調査書，成績証明書，面接及び小論文の総合得点により順位付けを行い，合否を決定します。

⑵　総合得点が同点の場合，次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

学科	プログラム	同点者の優先順位
先進工学科	機械工学プログラム	１．面接　２．成績証明書 ３．推薦書・調査書
	電気電子工学プログラム	１．面接　２．成績証明書 ３．推薦書・調査書
	海洋土木工学プログラム	１．小論文　２．面接 ３．成績証明書　４．推薦書・調査書
	化学工学プログラム	１．面接　２．成績証明書 ３．推薦書・調査書
	化学生命工学プログラム	１．面接　２．推薦書・調査書 ３．成績証明書
	情報・生体工学プログラム	１．面接　２．小論文 ３．成績証明書　４．推薦書・調査書
建築学科	建築学プログラム	１．面接　２．小論文 ３．成績証明書　４．推薦書・調査書

６．面接・小論文の日時・場所

期日	学科	プログラム	検査科目	時間	集合時間	場所
令和６年 ５月25日㈯	先進工学科	機械工学プログラム	面接	９:00～	８：40	工学部（共通棟入口掲示板で確認すること）
		電気電子工学プログラム	面接	９:00～		
		海洋土木工学プログラム	小論文 面接	９:00～10:00 11:00～		
		化学工学プログラム	面接	９:00～		
		化学生命工学プログラム	面接	９:00～		
		情報・生体工学プログラム	小論文 面接	９:00～10:00 11:00～		
	建築学科	建築学プログラム	小論文 面接	11:40～12:30 13:30～	11:20	

７．合格者発表

工学部掲示板（工学部共通棟入口）に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人宛通知します。（電話・メール等による合否の照会は一切応じません。）

令和６年６月10日㈪　10時（予定）

また，鹿児島大学工学部ホームページ（https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp）にも合格状況を掲載します。

※　なお，合格者には合格通知と一緒に入学手続書類等を郵送します。

学力検査による選抜

１．出願資格

次のいずれかに該当する者

⑴　理工系の短期大学又は高等専門学校を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者

⑵　外国において，前記⑴と同程度の課程を修了した者及び令和７年３月までに修了見込みの者

⑶　理工系の専修学校の専門課程（修業年限が２年以上，総授業時間数が1700時間以上であるものに限る。）を修了した者及び令和７年３月修了見込みの者で，かつ，学校教育法第90条第１項に規定する大学入学資格を有する者。

⑷　高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校を含む。）の理工系の専攻科の課程（修業年限が２年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たすものに限る。）を修了した者又は令和７年３月修了見込みの者（学校教育法第90条第１項に規定する者に限る。）

⑸　大学を卒業した者及び令和７年３月卒業見込みの者，又は学士の学位を取得した者及び令和７年３月末までに取得見込みの者

⑹　建築学プログラムの志願者は，TOEICを受験していること。

２．出願期間

令和６年５月７日㈫～令和６年５月10日㈮　16時まで（必着）

出願は，原則として書留速達郵便に限ります。ただし，出願期間を過ぎて到着したものは受理しないので，５月10日㈮16時までに到着しないおそれがある場合は，５月10日㈮に限り個人による持参を認めます。（受付時間は９時～16時（12時～13時を除く。））

３．出願手続

⑴　出願方法

志願者は，出願書類を整え一括して提出してください。郵送の場合は，印刷した出願書類と他の必要書類を出願用封筒（市販の角形２号（縦332 mm，横240mm）封筒にプリンターで印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けたもの）に入れ，書留・速達郵便で送付してください。

⑵　出願に要する書類等（＊印は工学部ホームページからダウンロードし，印刷する必要があります。）

書類等	摘要
編入学志願票＊	本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）を使用すること。
成績証明書	修得した科目と単位数が明記されており，最終学校長あるいは学部長が作成し，厳封したもの。令和７年３月卒業見込みの者は単位修得見込みの科目欄に○印をつけること。 （高等専門学校へ編入した学生については，高校またはそれに該当する学校での成績が明記されていること。）
履修要項（シラバス）紙媒体	志願者の適用年度の履修要項（シラバス）で修得している全ての科目及び修得予定の科目が対象。前述の全科目を紙媒体（A4用紙，両面）に印刷したもの。
TOEICの公式認定証等の写し	※建築学プログラムの志願者のみ 出願期間前２年以内のTOEICの公式認定証の写し又はTOEIC IPテストのスコアレポートの写し（ただし，IPテストは所属校主催のものに限る） （注）TOEICの抽選方式の申込みで外れる等して受験機会がなく，出願期間前２年以内のスコアを提出できない者は，その旨を記載した理由書（様式任意）を提出してください。
卒業証明書又は卒業見込証明書	出身学校（又は在学校）所定のもの。
編入学資格証明書＊	１．出願資格の⑷に該当する者は，本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）を使用し，在籍する学校長が証明したものを提出すること。
国費留学生証明書	日本国政府国費外国人留学生は，在籍する学校が発行する証明書を提出すること。
住民票（写）又はパスポート（写）	日本国籍を有しない者は，市区町村長の発行する在留資格が記載された住民票の写し（個人番号（マイナンバー）の記載が省略されたもの。），又はパスポートの写し（受験のために入国する場合）を提出すること。
写真票・受験票＊	出願前６ヶ月以内に撮影した写真を本学所定の写真票及び受験票に貼付のこと。（上半身，脱帽，正面，縦４㎝×横３㎝）
宛名票＊	本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）に志願者の氏名，住所及び郵便番号を記入すること。　※「様」は消さないこと。

書　類　等	摘　　要
入学検定料＊	30,000 円を「鹿児島大学検定料払込方法」（15 ページ）を参照の上，コンビニエンスストア又はクレジットカードで払い込み後，【収納証明書】を本学所定の様式（A4 用紙に印刷したもの）に貼り付けて提出すること。 なお，事務手数料は志願者の負担となります。 振込期間：令和６年４月22 日㈪～５月10 日㈮ 15 時まで 【注】出身学校において，日本国政府国費外国人留学生として奨学金を受給している者も，検定料を払い込んでください。（本学部の入学者選抜に合格し，入学することを前提とした奨学金の延長申請をする者は，延長が決定した場合，本学へ入学した後に検定料を返還しますので，決定通知書を添えて工学部学生係へ申し出てください。）
返信用封筒	市販の長形３号（縦235mm，横120mm）封筒に，志願者の氏名，住所及び郵便番号を明記し，344円分の切手を貼付のこと。　（受験票等の送付用）

(3) 個人情報の取扱について

個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）の制定に伴い，出願書類等により入学志願者から提出された個人情報については，入学者選抜・合格発表・追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理，修学指導等，授業料の債権管理を行うためにのみ利用し，他の目的には使用しません。

(4) 出願書類提出先

〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号
鹿児島大学工学部学生係　　［電話］099－285－3269

４．選抜方法

学力検査及び面接等の結果を総合して判定します。（配点等については，下表「選抜方法に関する配点」を参照のこと。）

⑴　選抜方法に関する配点

学科	プログラム	検査科目		学力検査 専門教育科目	学力検査 基礎教育科目	学力検査 小計	小論文	面接等	総合得点
先進工学科	機械工学プログラム	専門教育科目及び基礎教育科目		250	150	400		100	500
	電気電子工学プログラム	専門教育科目及び基礎教育科目		300	100	400		100	500
	海洋土木工学プログラム	土木系を専攻している志願者	専門教育科目	400		400		100（注１）	500
		土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目 小論文		300	300	100	100	500
	化学工学プログラム	基礎教育科目			400	400		100（注２）	500
	化学生命工学プログラム	専門教育科目		400		400		100	500
	情報・生体工学プログラム	専門教育科目及び基礎教育科目		300	100	400		100	500
建築学科	建築学プログラム	専門教育科目		400		400		100（注３）	500

（注１）海洋土木工学プログラムでは，面接に加えて成績証明書により総合的に判断し，100点満点で評価します。
（注２）化学工学プログラムでは，面接が50点，成績証明書50点の100点満点で評価します。
（注３）建築学プログラムでは，面接に加えてTOEICのスコア（公式認定証の写し）により総合的に判断し，100点満点で評価します。
　なお，出願期間までにTOEICのスコア（出願期間前２年以内のスコア）が提出できない者については，面接において英語能力を判断し，100点満点で評価します。

⑵　学力検査科目

学科	プログラム	検査科目		内容
先進工学科	機械工学プログラム	専門教育科目		材料力学，工業熱力学，水力学の中から２科目を選択する
		基礎教育科目		数学（注１）
	電気電子工学プログラム	専門教育科目		電気磁気学，電気回路学
		基礎教育科目		数学（注１）
	海洋土木工学プログラム	土木系を専攻している志願者	専門教育科目	構造力学，水理学，土質力学，土木材料
		土木系を専攻していない志願者	基礎教育科目	数学（注１），物理（注２）
			小論文	土木工学，海洋工学を学ぶ上で必要な基礎知識，基礎学力，学習意欲を評価できる問題
	化学工学プログラム	基礎教育科目		化学，物理，数学の基礎的内容についての口頭試問（注３）
	化学生命工学プログラム	専門教育科目		有機化学，分析化学，物理化学，高分子化学，生物化学の５科目の中から４科目選択
	情報・生体工学プログラム	専門教育科目		プログラム基礎，計算機工学，電気回路から２科目選択
		基礎教育科目		数学（注１）
建築学科	建築学プログラム	専門教育科目		構造力学，建築計画及び環境工学

（注１）微分，積分，ベクトル，行列を中心に出題します。
（注２）教養課程程度の一般物理を出題します。
（注３）当日出題される問題に対し，考える時間を与えて解答してもらいます。
（注４）化学生命工学プログラムは関数付電卓を使用することができます。各自持参してください。

(3) 面接の方法と評価事項

学科	プログラム	面接の形態		面接時間	評　価　事　項
		面接種類	面接員数		
先進工学科	機械工学プログラム	個人面接	4～6名	10分	学習意欲，目的意識と適性について評価する。
	電気電子工学プログラム		4～6名		学習意欲と適性について評価する。
	海洋土木工学プログラム		3～5名		学習意欲，目的意識と適性について評価する。
	化学工学プログラム		3～4名		学習意欲，目的意識について評価する。
	化学生命工学プログラム		3～4名		基礎学力，学習意欲，目的意識と適性などについて評価する。
	情報・生体工学プログラム		3～5名		勉学意欲，勉学遂行のための能力と知識，コミュニケーション能力と態度について評価する。
建築学科	建築学プログラム		5名		基礎学力，学習意欲，目的意識，適性について評価する。

注）受験者数などにより「面接の形態」,「面接時間」を変更することがあります。

5．合否判定基準

(1) 学力検査，小論文及び面接等の総合得点により順位付けを行い，合否を決定します。

(2) 総合得点が同点の場合，次表に示す科目等の優先順位により順位付けを行います。

プログラム			同点者の優先順位	
先進工学科	機械工学プログラム		1．学力検査	2．面接
	電気電子工学プログラム		1．学力検査	2．面接
	海洋土木工学プログラム	土木系を専攻している志願者	1．学力検査	2．面接
		土木系を専攻していない志願者	1．学力検査＋小論文	2．面接
	化学工学プログラム		1．学力検査	2．面接等（面接＋成績証明書）
	化学生命工学プログラム		1．学力検査	2．面接
	情報・生体工学プログラム		1．学力検査	2．面接
建築学科	建築学プログラム		1．面接	2．学力検査

６．学力検査の日時・場所

<table>
<tr><th>期　日</th><th>学科</th><th>プログラム</th><th colspan="2">検査項目・科目</th><th>時　間</th><th>集合時間</th><th>場所</th></tr>
<tr><td rowspan="22">令和６年
５月25日㈯</td><td rowspan="19">先進工学科</td><td rowspan="3">機械工学プログラム</td><td colspan="2">基礎教育科目　数学</td><td>９:00～10:30</td><td rowspan="22">８：40</td><td rowspan="22">工学部（共通棟入口掲示板で確認すること）</td></tr>
<tr><td colspan="2">専門教育科目</td><td>10:50～12:50</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td><td>14:30～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電気電子工学プログラム</td><td colspan="2">専門教育科目及び基礎教育科目</td><td>９:00～12:30</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td rowspan="5">海洋土木工学プログラム</td><td rowspan="2">土木系を専攻している志願者</td><td>専門教育科目</td><td>９:00～12:30</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td rowspan="3">土木系を専攻していない志願者</td><td>基礎教育科目</td><td>９:00～11:00</td></tr>
<tr><td>小論文</td><td>11:10～12:30</td></tr>
<tr><td>面接</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">化学工学プログラム</td><td colspan="2">基礎教育科目</td><td rowspan="2">９:00～
（注１）</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td></tr>
<tr><td rowspan="2">化学生命工学プログラム</td><td colspan="2">専門教育科目</td><td>９:00～12:30</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">情報・生体工学プログラム</td><td colspan="2">専門教育科目及び基礎教育科目</td><td>９:00～12:30</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td><td>13:30～</td></tr>
<tr><td rowspan="2">建築学科</td><td rowspan="2">建築学プログラム</td><td colspan="2">専門教育科目</td><td>９:00～12:30</td></tr>
<tr><td colspan="2">面接</td><td>13:30～</td></tr>
</table>

（注１）学力検査（口頭試問）と面接を連続して行います。（学力検査20分＋面接10分，合計30分）

７．合格者発表

工学部掲示板（工学部共通棟入口）に合格者の受験番号を掲示するとともに合格者本人宛通知します。（電話・メール等による合否の照会は一切応じません。）

令和６年６月10日㈪　10時（予定）

また，鹿児島大学工学部ホームページ（https://www.eng.kagoshima-u.ac.jp）にも合格状況を掲載します。

※　なお，合格者には合格通知と一緒に入学手続書類等を郵送します。

８．追加合格（学力検査による選抜）

入学手続を完了した者が募集人員に満たない場合は，追加合格により欠員の補充を行う場合があります。

その場合，追加合格候補者には，令和６年７月18日㈭から，入学願書に記載された連絡先に電話で連絡しますので，その際，確実に連絡がとれるように措置を講じておいてください。

本学部からの電話連絡の際，追加合格候補者が不在等で本人との連絡・確認ができなかった場合は，入学の意思がないものとして取り扱うことがあります。

編入学後の履修について

１．高等専門学校，大学，理工系短期大学及び専修学校を令和７年３月卒業見込みの方

⑴　編入学試験時には，提出された高等専門学校，大学，理工系短期大学及び専修学校の現在までに修得している科目の成績証明書により編入学後の卒業要件単位の取得可能性を判断しております。ただし編入学後は，高等専門学校等を卒業するまでに修得した科目の成績に対して，当該プログラムの卒業要件単位と認定することの可否を改めて判定いたします。

したがって，現在履修中の科目もしっかり勉学に励んで下さい。

⑵　３年次に編入した後,不足する単位については当該プログラムでのカリキュラムに従って，卒業要件を満たすように単位を修得しなければなりません。１学期に履修できる単位数は，原則20単位までという上限がありますので，認定された科目（単位）数が極めて少ない場合は，４年次進級に必要な科目（単位）を１年間で履修できないことがあります。

２．第３年次特別編入学者に係る教員免許取得の取扱い（高等専門学校出身者）

編入学前の既修得単位を単位認定した科目の中で，「教員免許取得のための教科に関する科目として適当であると認めた科目」の取扱いは以下のとおりとなります。

教育職員免許法施行規則　第66条の７		
高等専門学校（第４学年及び第５学年に係る課程に限る）で修得した科目に係る科目で教科に関する科目として適当であると認めた科目	⇒	高等学校教諭普通免許状については10単位を限度

注　意　事　項

１．出願時の注意

⑴　入学検定料を「鹿児島大学検定料払込方法」（15ページ）を参照の上，払込期間（令和６年４月22日㈪～令和６年５月10日㈮ 15時までに納付してください。

⑵　払い込み後，【収納証明書】を所定の台紙に貼付して出願書類に同封してください。

⑶　入学検定料が払い込まれない場合，【収納証明書】が出願書類に同封されていない場合は，出願書類は受理しません。

⑷　既納の入学検定料は次の場合を除き，いかなる理由があっても返還いたしません。

①　入学検定料を払い込んだものの，出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期限が終了したり，書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）。

②　誤って入学検定料を二重に払い込んだ場合。

⑸　出願後の出願書類の返却並びに記載事項の変更は認めません。

⑹　出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は，入学許可を取り消すことがあります。

⑺　本学の受験に際し宿泊を必要とする場合は，各自で宿舎等の確保をしてください。

２．受験上の注意

⑴　受験者は，検査員の許可がなければ検査室に出入りすることができません。

⑵　受験者は，受験の際に必ず受験票を携行してください。なお，入学手続の際にも必要となるので，大切に保管してください。

⑶　検査開始時刻に遅刻した者や受験票を忘れた者は，検査場本部に申し出てください。検査開始後30分を越えて遅刻したときは，その科目以降の受験を認めません。

⑷　原則として，追試験は行いません。

⑸　鉛筆（シャープペンシルも可）・消しゴム・小型定規（直線定規）・鉛筆削り（電動式を除く。）等は各自用意し，検査中に他人の物品を借りたり，共用したり，検査に必要のない物品を持ち込んだりしてはいけません。

⑹　時計を使用する場合は，計時機能だけのものとします。アラームや時報機能のついた時計は，検査室に入る前に必ずアラームや時報の設定を解除しておいてください。

⑺　スマートフォン，携帯電話，ウェアラブル端末等の電子機器類は，検査室に入る前に必ずアラームの設定を解除し，電源を切ってかばん等に入れておいてください。検査時間中に，これらをかばん等に入れず，身に付けていたり，手に持っていると不正行為となることがあります。

なお，検査時間中にかばん等の中でスマートフォン，携帯電話，ウェアラブル端末等の着信音やマナーモードの振動音が発生した場合は，検査員が本人の了解を得ずにかばん等を検査室外に持ち出し，検査場本部で当該検査時間終了まで保管します。

⑻　検査室に入室してから検査終了まで退室を認めません。ただし，検査中に発病等やむを得ない場合には，手を挙げて検査員の指示に従ってください。この場合，検査時間の延長は認めません。

⑼　検査に際して不正行為が認められた受験者については，その検査は無効とし，その後の受験を認めません。この場合，すべての成績が無効となり，合否判定の対象者とはなりません。

⑽　検査場の配置等は，検査前日の15時までに工学部掲示板（工学部共通棟入口）に掲示しますので確認しておいてください。ただし，検査棟内への立入りはできません。

⑾　検査当日は，自動車・バイク等による入構を禁止します。

障害のある入学志願者の事前相談

学校教育法施行令第22条３に定める障害等（次表参照）のある志願者又は発達障害のある志願者で，受験上特別な措置及び修学上特別な配慮を必要とする者は，あらかじめ本学と相談してください。

なお，補聴器，松葉杖，車椅子等を使用している場合も事前相談が必要です。

区　分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね０．３未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち，拡大鏡等の使用によっても通常の文字，図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち，補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	１　肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行，筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ２　肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち，常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	１　慢性の呼吸器疾患，腎臓疾患及び神経疾患，悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ２　身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（注）学校教育法施行令第22条の３の規定に準拠した。

１．相談の期間

原則として，令和６年４月22日㈪までとします。

※　相談の内容によっては対応に時間を要することがあり，本学の試験までに対応できずに特別な配慮が講じられないこともありますので，できるだけ早い時期に相談してください。

２．相談の方法

電話などにより事前に連絡した上で，次の内容を記載した相談書（様式任意）等を提出してください。

⑴　事前相談書（次の事項等を記載したもの。）

①　志願者の氏名及び生年月日

②　志願者の現住所，電話番号及び保護者の連絡先

③　出身学校

④　志願学科・プログラム

⑤　障害の種類・程度

⑥　受験上特別な措置を希望する事項

⑦　修学上特別な配慮を希望する事項

⑧　出身学校等でとられていた特別な配慮

⑨　日常生活の状況

⑵　医師の診断書

⑶　その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

３．問い合わせ先

〒890-0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係　［電話］099－285－3269

入　学　手　続

入学手続書類等は，合格通知書と一緒に送付しますので，下記の期日の間に必着するよう郵送，または工学部学生係窓口で入学手続を行ってください。

１．入学手続期間

令和６年７月11日㈭～令和６年７月12日㈮　９時～17時（ただし，12時～13時を除く。）
（郵送の場合も，７月12日㈮17時までに必着のこと。）

２．提出書類

宣誓書，在学保証書，受験票，※卒業（修了）証明書，※成績証明書（卒業（修了）後のもの），入学料郵便振替払込受付証明書（お客さま用）
※卒業（修了）証明書，成績証明書（卒業（修了）後のもの）については，入学手続時に提出できない場合は，大学から所属学校へ提出を依頼します。

３．納付金の納入

⑴	入　学　料		282,000円
⑵	授　業　料	前期分	267,900円
		（年額	535,800円）

※　入学料，授業料に改定があった場合は，改定後の納付金を納入いただくことになります。
※　入学料，授業料については，納付が著しく困難であると認められる者に対する徴収猶予・免除制度があります。詳細は，最終合格者に送付する入学手続書類でお知らせします。

（注意）

１）授業料は，免除申請中の者を除き，本人指定の口座から前期分を５月下旬に，後期分を10月下旬に引き落とします。

２）既納の入学料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還できません。
　㈠　入学料を払い込んだが，入学手続をしなかった場合
　㈡　入学料を誤って二重に払い込んだ場合

３）在学中に授業料の改定が行われた場合は，改定時から新授業料が適用されます。

４）推薦による選抜で合格した者で，特別な事由により入学を辞退する者は，出身学校長を経由して，具体的な辞退理由を記し，署名・押印した「編入学辞退届」（様式任意）を令和６年７月５日㈮17時までに本学工学部長あてに作成して工学部学生係に提出し，許可された場合に限り入学辞退を認めます。

５）入学手続終了後，都合により入学を辞退する場合，工学部学生係に入学辞退を申し出て，所定の手続きを令和７年３月28日㈮までに行ってください。この場合，入学料を除き，既に納付済みの諸会費等（例：学友会費，同窓会費，学生教育研究災害傷害保険料等）を返還します。

６）入学手続後に入学を辞退する場合，入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり，入学料を納入していただくこととなります。

入 試 情 報 開 示

小論文，学力検査等問題の正解・解答例の開示

合格発表後，「正解・解答例」を工学部学生係で開示します。

なお，次の点にご留意ください。

１．正解・解答例については，「例示」であり，複数の正解・解答例があり得ます。

２．正解・解答例に代えて，出題意図を開示する場合もあります。

入学者選抜試験個人成績の開示

令和７年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

１．開示内容

試験成績

学力検査等の個々の科目の得点及び総合得点を開示します。

２．開示期間　　令和６年６月10日㈪～令和６年８月２日㈮　９時～17時

ただし，土・日曜日，祝日を除く。

３．開示請求申込方法

請求者　受験者本人に限ります。（代理人の請求は認めない）

開示方法

⑴　開示請求を行う者は，郵送により，次の①～③を取り揃えて，封筒の表に**「入試情報開示請求」と朱書し，**必ず**書留郵便**で請求してください。ただし，開示期間中の消印のあるものに限り受け付けます。

①　入試情報開示請求書（様式は右記のとおり）

②　令和７年度鹿児島大学工学部編入学試験受験票

③　返信用封筒（長形３号の封筒に434円分の切手を貼付し，自分の宛先を明記したもの）

⑵　請求先

〒890－0065　鹿児島市郡元一丁目21番40号

鹿児島大学工学部学生係

４．その他

令和６年度以前の個人成績は開示しません。

注：開示請求する選抜方法に○印を付す。

➡

Ａ４用紙

入 試 情 報 開 示 請 求 書

年　　月　　日

鹿児島大学工学部長　殿

請求者　現住所＿＿＿＿＿＿＿＿

電話＿＿＿＿＿＿＿＿

氏名＿＿＿＿＿＿＿＿

選抜の方法

推薦による選抜

学力検査による選抜

受験学科･プログラム＿＿＿＿学科＿＿＿＿＿＿プログラム

受 験 番 号＿＿＿＿＿＿＿＿

私の入試成績について，入試情報の開示を請求します。

鹿児島大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで
24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

https://e-shiharai.net/

※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

各店舗へ

そのまま
カード決済手続へ

コンビニエンスストアでお支払い

●検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
●店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。

【払込票番号（13ケタ）】

●レジにて
「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料取扱明細書」(チケット)を受け取ってください。

LAWSON MINI STOP

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Loppi へ

各種サービスメニュー

各種代金・インターネット受付(紫のボタン)

各種代金お支払い

マルチペイメントサービス

【お客様番号】【確認番号】を入力

FamilyMart

【お客様番号（11ケタ）】
【確認番号（4ケタ）】

Famiポート へ

代金支払い

各種代金お支払い

番号入力画面に進む

【お客様番号】【確認番号】を入力

店頭端末機より出力される「申込券 」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。

お支払い後、必ず「入学検定料・選考料　取扱明細書」を受け取ってください。

クレジットカードでお支払い

VISA　mastercard

※お支払いされるカードの名義人は、受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、支払方法で「クレジットカード」を選択

カード情報を入力

全入力内容が表示されますので、正しければ「確定」を押す

お支払い完了です。
E-支払いサイトの申込内容照会(URL:https://e-shiharai.net/)　にアクセスして下記の手順に従って、「収納証明書」を印刷してください。

3 出　願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。

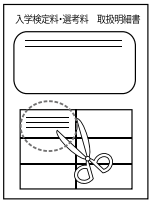
※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。
「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼り出願。

<注意>
プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関出納印」は不要です。



⚠ 注意事項

●携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。

●出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●支払最終日の「Webサイトでの申込み」は14:00まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。14:00までにお手続きしてください。

●「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●一度お支払いされた検定料は返金できません。

●検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限ります。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

（資料）令和５年度入学者選抜に関する入試状況

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦による選抜	20	57	56	35	22
学力検査による選抜					

鹿児島大学位置図

工学部へのアクセス

徒　　歩：ＪＲ鹿児島中央駅から約 20 分

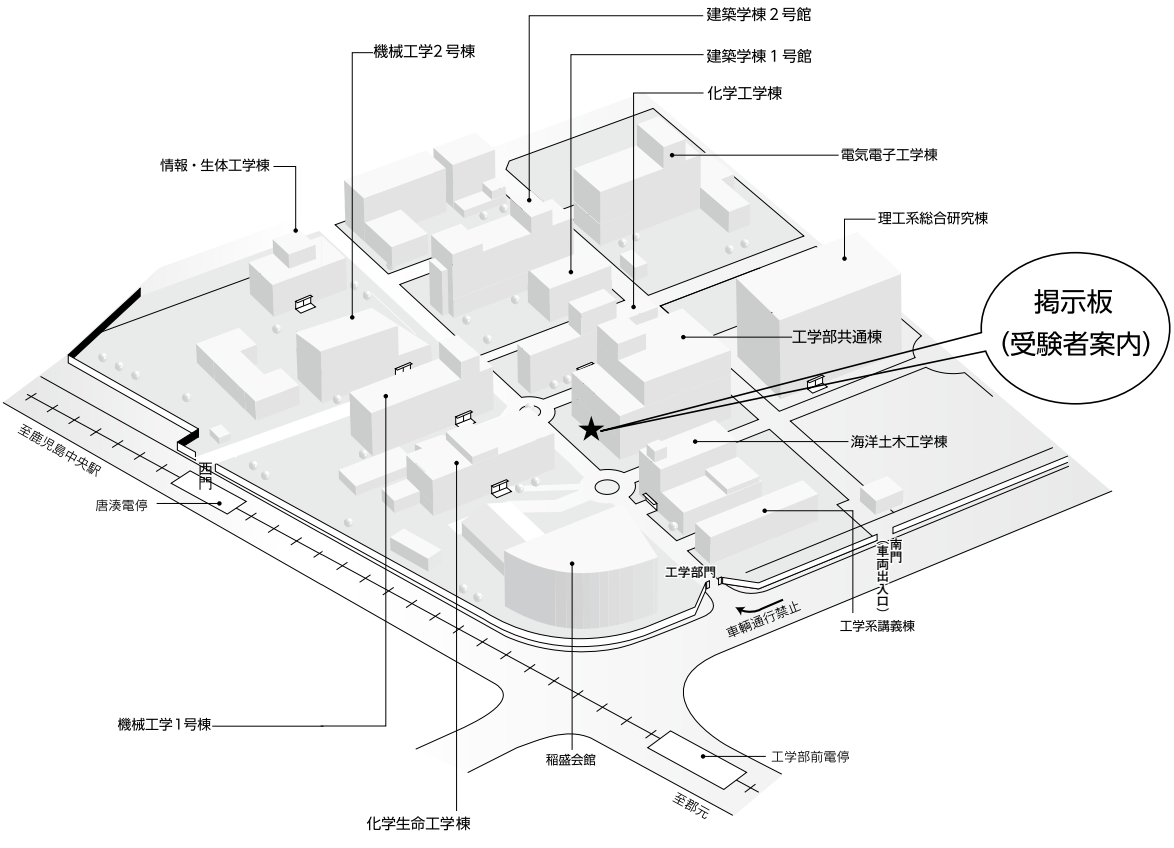
市　　電：「鹿児島中央駅前」乗車，「唐湊」「工学部前」下車約３分

市営バス：ＪＲ鹿児島中央駅東口バスのりば「東 15」から「⑪鴨池・冷水線」
「⑳緑ヶ丘・鴨池港線」を利用し，「法文学部前」下車，徒歩約 10 分

鹿児島交通バス：「⑱」「法文学部前」下車，徒歩約10分

南国交通バス：「㊴」「法文学部前」下車，徒歩約10分

工学部案内図



編入学試験に関するお問い合わせ先

鹿児島大学工学部学生係

〒８９０－００６５　　鹿児島市郡元一丁目２１番４０号
ＴＥＬ　　０９９－２８５－３２６９